

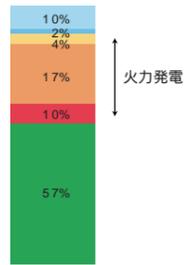
## 火力発電 水力発電

変動する電力需要への柔軟な対応力が、火力発電の特長です。

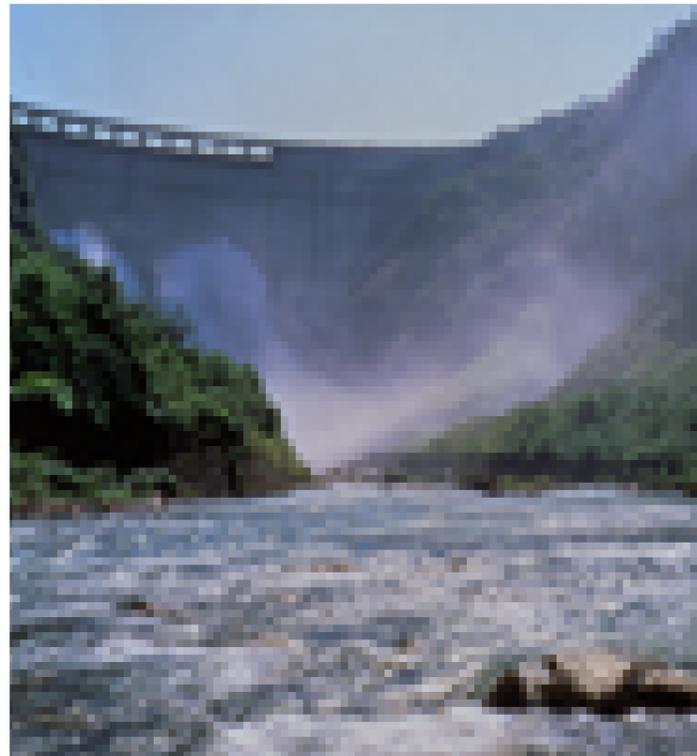
多様な燃料をバランスよく利用する

### 火力発電

刻々と変化する電力需要に対して、優れた柔軟性を発揮する火力発電は、電力の安定供給を支えるミドル電源として、大きな役割を果たしています。火力発電による発電電力量は全体の31%。今後も比較的価格の安定した石炭やクリーンなLNG（液化天然ガス）などを燃料とする火力発電所の導入により燃料の多様化を図っていきます。

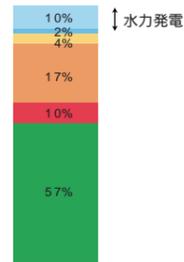


黒部川第四発電所



環境負荷が小さく、国内資源を有効活用する水力発電

水力発電が占める発電電力量は12%ですが、環境への負荷が少なく、また国内資源の活用という面からも、重要な電源です。さらに、電力需要が少なく供給に余裕のある夜間に、下部調整池より上部調整池にポンプ揚水し、昼間に発電する揚水式水力発電も、ピーク時・緊急時の電力供給源として大きな役割をになっています。



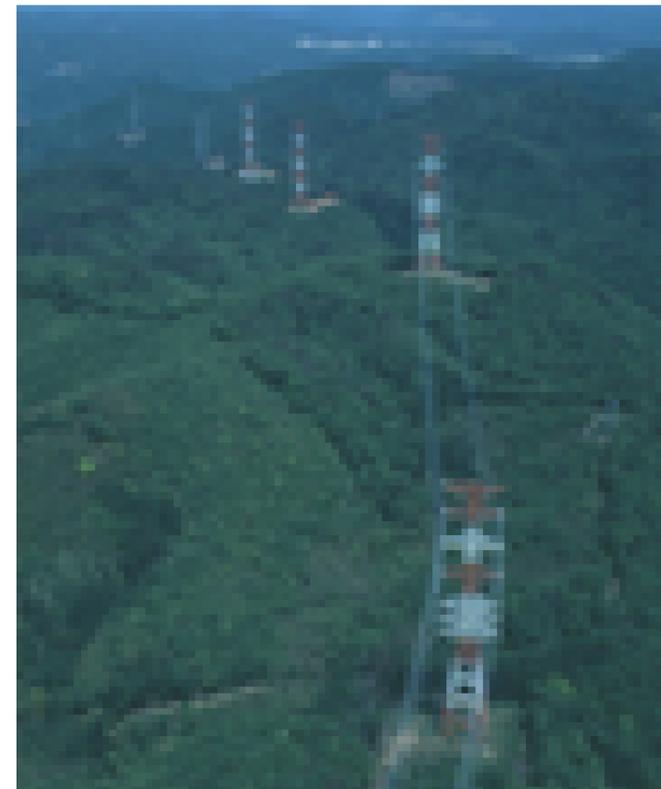
自然の力を活用する水力発電は、環境にやさしい電源です。

## 送電 配電

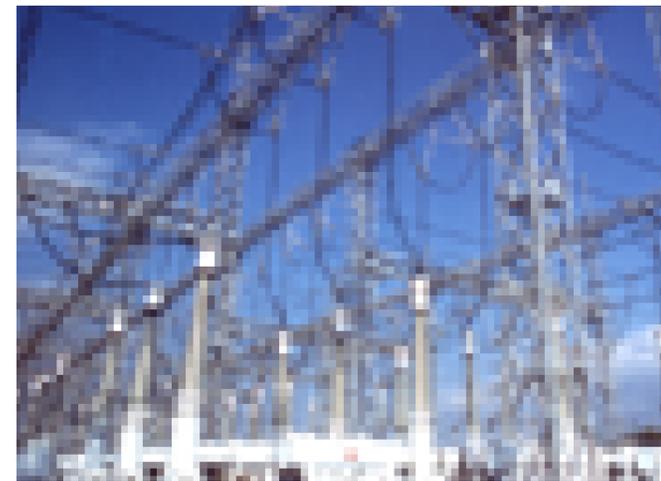
効率的で、安定的な流通のために、日夜努力を重ねています。

効率的で、高品質な電力流通システムを実現

電気の生産地である発電所から、お客さまのもとまで、効率よく、安定して電気をお届けするのが、関西電力の流通（送電・変電・配電）システムです。このために、経済性の追求と同時に、流通設備の強化を図ってきました。たとえば、地域にはりめぐらせた流通システムを24時間365日監視し、コントロールするために、高度なIT技術を用いた監視システム・自動化システムを採用し、さらに台風などの災害に備えた周到な訓練を実施しています。その結果として、お客さま1軒あたりの停電時間や停電回数も大幅に低減され、世界的にもトップクラスの品質を達成しています。関西電力はこれからも、電気の品質を高く維持しながら、さらに効率的な流通システムを構築するため、新技術、新工法を採用し流通コストの低減に努めていきます。



播磨西線



新生駒変電所